



皆さんの想いを共有しながら

皆さん、こんにちは！今年4月から三つ葉に来ました日吉です。

三つ葉に来る前は、病院に勤務していました。そこでは、時間に追われ、流れ作業のように外来診察と治療をこなし、人を診るというより、病気や検査データを治す医療をしているように感じていました。

「自分が本来めざしていた医療と違う」…そんな想いを抱えながら過ごしていた1年前、三つ葉のことを知り、「自分の理想とする医療がある」と、吸い込まれるように三つ葉の門を叩いていました。

在宅医療に関わるようになって感じることもあります。患者さんが自分の家や家族のことを大切に感じる想い、家族が患者さんのことを愛する想い、それを見守り、サポートする三つ葉のスタッフの想い…



どれも、病院にいるころには気づかぬフリをしていたように思います。

三つ葉に来て5カ月あまり。いまはそんな想いを皆さんと共有して、微力ながらもサポートできていることに喜びを感じる毎日です。

皆さん、これからも一緒にがんばりましょう！安心してご自宅で過ごせるよう、全力でサポートさせていただきます。(日吉・医師)

● 掲示板 ●

●類似ブランドへのご注意

最近、名古屋市市内にて、三つ葉在宅クリニックと類似する名前やロゴマークを使用した高齢者施設・介護事業所ができておりますが、医療法人三つ葉 および 三つ葉在宅クリニックとは一切関係ありません。

医療法人三つ葉は、在宅専門診療所である「三つ葉在宅クリニック」のみを運営しており、その他の関連医療機関・介護事業所・高齢者施設等はありません。

三つ葉在宅クリニックは、地域の皆さまとの一つひとつの関係を大切に、連携しながら、今後とも運営してまいります。よろしくお願いたします。

三つ葉のスタッフ紹介

こんにちは、ドライバーの小林です。毎日、往診車を運転して患者さんのお宅に伺っています(お家の中には入りませんが)。医師は車で移動中にクリニックと電話連絡をしたり、事務作業をしたりします。それに集中できるよう、快適な運転を心掛けています。緊急往診が入ると、突然訪問順序が変わったり、急いで行かなくてはいけないこともあります。そんなときも焦らず安全に、がモットーです。



そのほか、私は以前、ずっと車関係の仕事をしていたので、そのときの経験を生かし、往診車の管理などもサポートしています。一般の人がなかなか気付かない車のちょっとした変化などについて知っていることも多いので、お役に立てればと思います。

医療法人 三つ葉
三つ葉在宅クリニック
〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通 3-12
御器所ステーションビル 3F
TEL 052-858-3281 FAX 052-858-3282
URL <http://www.mitsuba-clinic.jp>



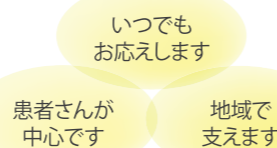
三つ葉しんぶん係メールアドレス
tsubuyaki@mitsuba-clinic.jp

■ 私たちの理念

最高の在宅サービスを提供し
安心して暮らせる社会を創造する



■ 安心を支えるために…



三つ葉しんぶん 14

2012年9月号

「三つ葉しんぶん」は患者さん・ご家族と、三つ葉医師・スタッフの双方向通信です。

今月の三つ葉 ~ 診療に同行して

8月、医療事務部門のスタッフが訪問診療時にお邪魔したことがあったかと思えます。これは、院内の他部門研修の一環で、普段、患者さんに直接お会いすることのない事務スタッフが、医師と診療サ

ポートスタッフに同行して、実際にどんな診療を提供しているのかを知るためのものでした。大勢でお伺いしましたが、快く受け入れてくださった患者さん・ご家族に感謝いたします。

患者さんと医師がどんな風に話しているのかあまり想像できなかったのですが、患者さんと視線を合わせ、意識のはっきりされない方にも明るく話しかけながら、一つひとつ診療を進める医師の姿を見て、在宅医療の良さを改めて感じました。



また、あるお宅で奥様を献身的に介護されるご主人の姿に心打たれました。お部屋もすごくきれいにしていってました。たいへんご苦労があると想像するに難くありませんが、「当たり前だよ」とサラッとお答えになられるご夫婦のあり方が、とてもうらやましく感じられました。(加藤)

いつも、医師が患者さんのお宅へ持っていく医療物品の準備をしていますが、現場でどう使われているのか、よく分からないこともあります。でも、この日は胃ろうの交換や採血なども見せていただき「絶対に間違えたらいけないな」と思いました。個々の患者さんは体の状態も異なり、それぞれの生活をお持ちです。お一人おひとりに合わせた物品をきちん準備することの大切さを痛感しています。



あるお宅では、お孫さんの結婚式のときのお写真を見せていただきました。家で療養されているときと違う、晴れの日の笑顔がとても印象的でした。(宮脇)

声

患者さんにご家族からのお便り 心のオアシス

いつも、三つ葉しんぶんを楽しみに拝読しております。心ある介護をされている家族の方々には、本当に頭が下がる思いです。24時間365日在宅で介護をすることは、いろいろな辛さや思いがあると思います。

私の夫は脊髄小脳変性症で今は、在宅で介護をしております。畳の目のように進行する難病に対して、夫の生活様式や私の職種、住居環境などの変化を余儀なくされ、三つ葉の先生の診療にお世話になって、2年が過ぎようとしています。今の生活パターンを、私自身も少しずつ受け入れながら仕事をしています。

私は6年前まで、救命センターで働いており、さまざまな患者さんとそのご家族と関わってきました。今は看護学校で、学生に「動けなくなった

患者さんの気持ちを考えて…」と常に伝えているのですが、夫に対する態度は正反対の言動をとっています。まるで「仕事仕様」と「家仕様」があり、プロとして働いてきた自分に情けなさやジレンマにさいなまれることがあります。そんなとき「三つ葉しんぶん」を読むことで、励まされたり、勇気が湧いたり、自分をほめてみたり、いろいろな心のオアシスとなっていることにありがたく思っています。この気持ちをお伝えしたくてペンを取りました。

「三つ葉しんぶん」をつくる者までも励まされる、素敵なお便りをありがとうございました。

皆さまの日ごろの出来事、想いなど、お便りをお待ちしています。同封のはがきをご利用ください。

心臓と心電図

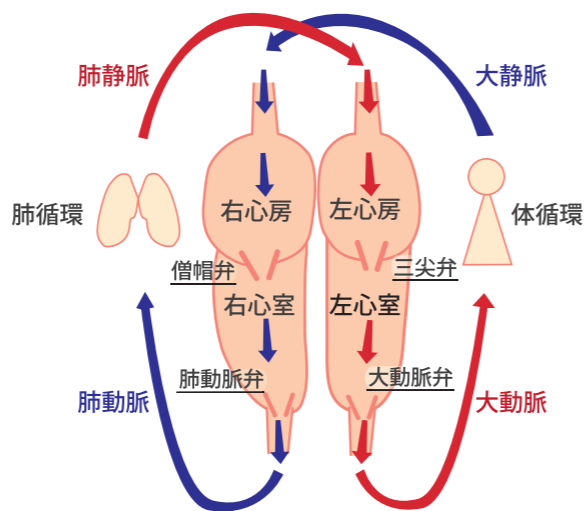
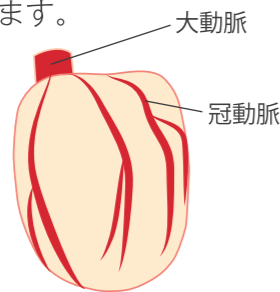
特集

絶えず全身に血液を送り出している心臓。この心臓の動きをコントロールしているのは、心臓のある部分から伝えられる電気刺激です。体の中で電気が発生しているなんて、不思議ですね。そして、この電気の伝わり具合を計測し、心臓の状態を調べるのが「心電図」です。胸のまわりや手足にペタペタとくっつけた電極から、いろいろなことがわかります。

心臓はどんな構造をしているの？

心臓は隔壁によって左右に分かれ、さらに弁膜によって上下に分かれており、上が心房、下が心室です。人の握り拳ほどの大きさの筋肉でできた袋が膨らんだり縮んだりしています。

この心臓を取り囲むように走っているのが「冠動脈」という血管で、心臓はここから栄養や酸素を得ています。



血液の流れ

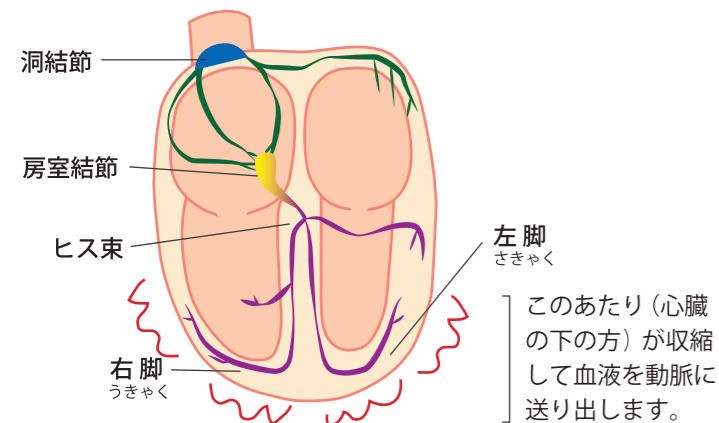
左心室から大動脈に血液を送り出し、全身を回って酸素を使い、右心房に戻ってくるのが「体循環」、右心室から肺静脈を通して肺へ行き、酸素をいっぱい取り入れて左心房に戻ってくるのが「肺循環」です。

逆流を防ぐ弁

心房と心室の間、心室から動脈への出口部分に、それぞれ弁がついていて、開いたり閉じたりしながら、血液の逆流を防いでいます。この弁が閉じる時の音がそれぞれ少しずつずれるため、聴診器で聴く心臓の音は「トントン」と二重に聞こえます。

電気で動く心臓

右心房の上にある「洞結節」が私たちの脈をつくるペースメーカーです。ここから電気信号が発せられ、房室結節→ヒス束→右脚・左脚へと伝わり、心室のポンプ運動が起こります。



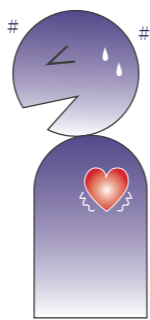
心不全とは？

「心不全」は病気というより、さまざまな病気・原因によって、心臓が血液を送り出せなくなっている状態のことを指します。

程度の差はありますが、例えば、じっとしているときは何ともなくても、立ち上がって動いたりすると苦しくなります。

ハアハア…

ゼイゼイ…

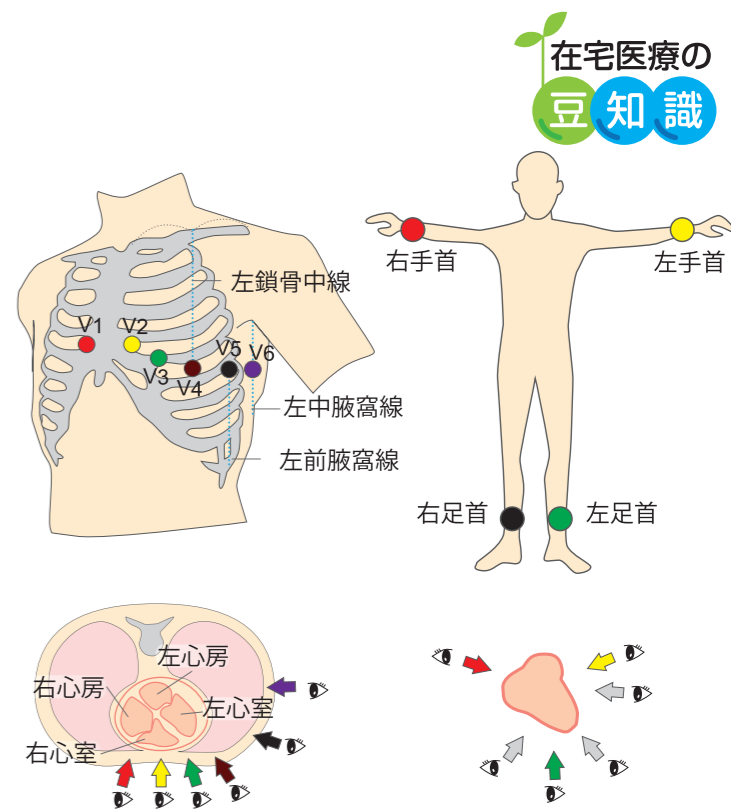


心電図とは・・・

心臓がポンプを動かすときに発生する電流の変化を波形として記録し、その乱れから病気の兆候を読み取ろうとするものです。

三つ葉でも使用している最も一般的な方式は「12誘導心電図」といい、横になり体に胸の周りや手足に電極を付けて、数分間で終わる簡単な検査です。

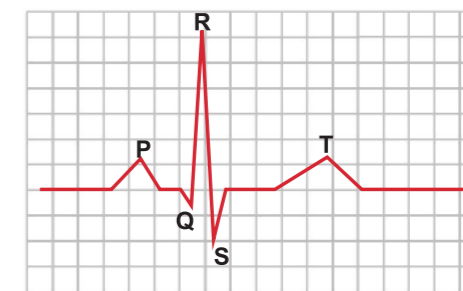
電極を付ける位置は10カ所で、きちんと決まっており、その組み合わせによって、12の方向から心臓の動きを見ています。どの位置から見ている波形に異常があるかによって、どんな病気であるかを調べています。



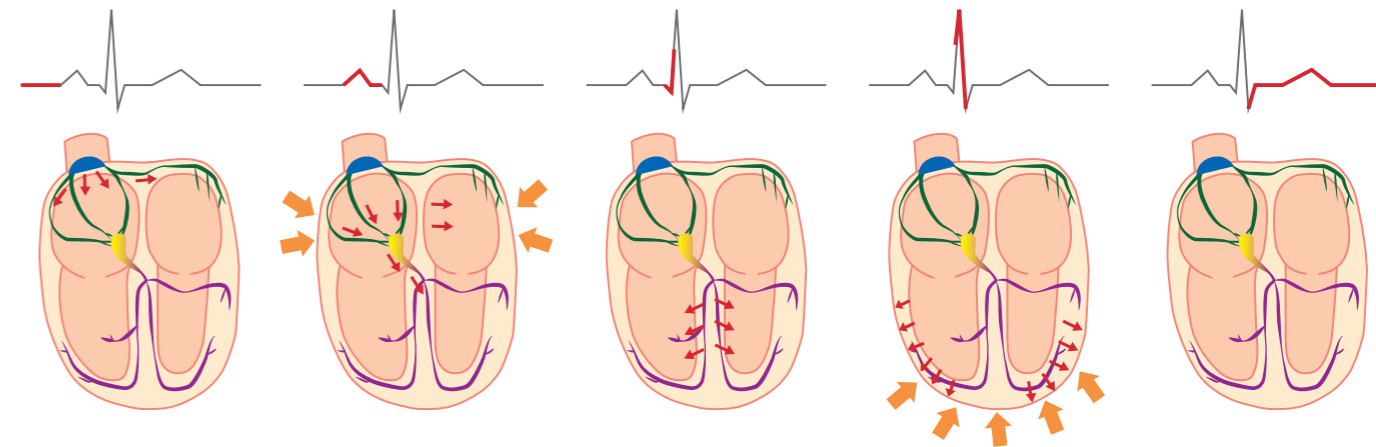
波形について

心電図の基本的な波形は右図のようになっており、心臓が1回収縮するごとに3つの波が現れます。

- ・P波 (心房の収縮)
- ・QRS波 (心室の収縮)
- ・T波 (心室の収縮の終了)



詳しく見ると、下図のようになります。



心電図の異常(例)

●心房細動

心房が不規則に興奮し、心室が規則正しく拍動できなくなります。心電図ではP波が見られなくなるのが特徴で、動悸を感じたりします。



●急性心筋梗塞

冠動脈が詰まり、心筋に血液が行き届かず、心臓が壊死した状態になります。締め付けられるような痛みを感じ、苦しく、心電図ではST波が上昇します。

